

積んできた教員のもと、複合的に学ぶことができます。今後は国際化への積極的な対応、外部研究費を増やすなど研究力を向上させ、また、大学院博士後期課程の開設を目指すなど、より専門性、実践性の高い研究、教育に邁進します」と話しました。

山根格教務委員長は、「保護者の皆様には、単位の取得状況や、進級、卒業要件をきちんと把握していただきたい」と助言。さらに「学生には、一つの分野だけでなくさまざまなジャンルに挑戦し、自らの専門に他の知見をあわせることで、活躍の幅を広げていただきたい」と期待を示しました。

その他、就職関係については、「就職先は、不動産、住宅関係が多いが、旅行業や飲食関連等多様な業種に卒業生



都市生活学部の全体説明会で川口和英学部長は「国際化や研究力向上に注力」と強調



閉会前に全教員が講演上に。各クラスや研究室担任教員を紹介しました

を輩出しており、就職率も本学部卒業生は、全国平均を上回っている(宇都正哲キャリア委員長)、大学院進学に関しては、「大学院で専門性を高めることは海外で働く上でもメリットになる(坂井文専攻主任)など、それぞれ報告がありました。また国際人材育成に関しても、川口英俊教授らから、「学部ならではの海外研修の他、本学独自の留学プログラムや国際交流を積極的に活用してほしい。お子さんが迷っているようなら、背中を押してほしい」と訴えました。

なお、今年度、全国の連絡会へのご参加は全1,529世帯2,085名。来年も多くの方々のご参加をお願いします。



◆ 参加された保護者の方々の感想



都市生活学科 2年
佐藤 杏子さんのご両親

インターンシップや海外研修のことを知りたくて来ました。去年も参加しましたが、親切で真面目そうな学生が多く、子どもにも良い影響がありそうです。



児童学科 4年
黒沼 志帆さんのご両親

都市大の取り組みを知ることのできる良い機会なので、毎年来ています。第一志望で入学した大学も今年で卒業。このきれいな校舎を目に焼き付けて帰ります。

子どもがまだ1年生なので、大学の様子を知りたくて参加しました。オープンキャンパスで学生さんが親切に案内してくれ、とても好印象だったことを覚えています。

児童学科 1年

この大学が好きなので、学園祭や保護者会などさまざまな機会を捉えて来校しています。今年はとくに就職関係の情報を得たくて来ました。先生が親身にお話してくれたので安心です。

都市生活学科 3年

この大学は、とてもアットホームな雰囲気、教職員との距離が近い感じがしますね。娘が3年になったので、今後の進路のことや就職動向について詳しく伺いに来ました。

児童学科 3年

入学前からこちらの学園には何度も来ていたんです。説明会では、とても分かりやすく話してくださったので、いろいろなことを理解できました。質問にもしっかり答えてくださいました。

児童学科 1年

取材にご協力いただきありがとうございました。

新潟会場

それぞれの“あつい”思いに応えるために

横浜キャンパス 学生支援センター 係長 金谷 朗子

本文に先立ち、この度の台風第19号により、被害を受けられた皆様には心からお見舞い申し上げます。

今年で53回目を迎えた「大学と保護者との連絡会」は全国20会場で開催されました。今回は、9月8日(日)開催の『新潟会場』からご報告いたします。

『新潟会場』は、新潟県から長野県にかけ南北に流れる信濃川の“川端”にある「ホテルオークラ新潟」を会場に開催し、6世帯10名の保護者の皆様に参加いただきました。

大学の近況、学修の流れ、成績表の解説、学生生活支援、就職・進路について資料等を基に本学教職員より説明、その後、質疑応答、個別相談を行いました。

また、東京都市大学校友会新潟県支部より2名の卒業生に出席いただき、支部の活動に加えて、大学院での学び、Uターン就職など体験談を交えてご紹介がありました。校友会各地方支部はUターン就職など支援体制がありますので、個々の活動に加え、校友会をご活用いただければ幸いです。

新潟会場は参加者が少数であったため、会場のレイアウトをコの字にし、皆様にも参加していただける形式としました。質疑応答、個別相談の内容としては、参加者の皆様が学部3年生であったため、進路についてなどが寄せられました。



また、前日開催された高崎会場において、マルチ商法による被害相談が寄せられたこともあり、マルチ商法について、学生生活支援、就職・進路の説明の際に具体的な事例(就職セミナー参加からの勧誘など)とともに周知させていただきました。ご家庭におかれましてはご子息ご息女から相談された際には、速やかに大学と連携をとるなど対応をお願いするとともに、本学においても改めて阻止抑制の注意喚起をさらに徹底するよう努めてまいります。

新潟会場が開催された当日は、気温37度と、朝から容赦なく照りつける日差の中、会場までご足労いただいたことで、保護者の皆様の大学に向けられる熱い思いを痛感しました。暑さ寒さの厳しい環境で大切に育てられたご子息ご息女に対し、本学として安心して学生生活を送り、教育的付加価値をつけて卒業いただけるよう支援して参ります。本連絡会を通して大学を身近に感じ、本学の取り組み、SHINKAを感じていただければ幸いです。